

眼科電子カルテ仕様書

1-1		眼科電子カルテ	
	1-1-1	システム全体	
	1-1-1-1		眼底写真や超音波検査など眼科機器と接続し、そのデータを保存するとともに、眼科診療を行う場所（外来、病棟、手術室、特殊検査室など）でデータ閲覧ができること。
	1-1-1-2		ペーパーレスを目指すために、眼科検査データの全てをデジタル化する眼科ファイリングシステムを構築すること。
	1-1-1-3		デジタル化が不可能な検査データについては、紙原本の併用、あるいはデータのアナログ保存が許可されること。
	1-1-1-4		眼科システムとHISとの接続インターフェースを有していること。
	1-1-2	入力システム本体	
	1-1-2-1	患者一覧	
	1-1-2-1-1		HISにて受付された患者情報は自動的に電子カルテおよび眼科ファイリングシステムに登録されること。
	1-1-2-1-2		紹介状等の取込みが行え、該当患者情報として管理できること。
	1-1-2-1-3		患者リストには、各検査・診療グループ別にTAGにより管理・表示されること。
	1-1-2-1-4		患者検索機能を有しており、患者の滞在場所が分かること。
	1-1-2-1-5		カルテを開かなくても、緊急性のある患者が一目で分かること。
	1-1-2-1-6		当日の状況が一目で区別できること。
	1-1-2-1-7		患者の滞在時間が一目で分かること。
	1-1-2-1-8		患者の次の移動場所を指示できること。
	1-1-2-1-9		散瞳経過時間が分かること。
	1-1-2-1-10		患者リストで患者を選択すると診療録が表示されること。
	1-1-2-1-11		ログオンした使用者および端末名を表示すること。
	1-1-2-2	本日の診察	
	1-1-2-2-1		患者リスト画面で患者が選択されると、選択された患者の診療録が表示されること。
	1-1-2-2-2		眼科ファイリングシステムから挿入された画像は画像リストで表示できること。
	1-1-2-2-3		眼科ファイリングシステムで入力された検査データを選択的に表示できること。
	1-1-2-2-4		各種ボタンにより指定したモードで眼科ファイリングシステムを起動できること。
	1-1-2-2-5		自動的に眼科ファイリングシステムでの検査実施情報を取得できること。
	1-1-2-2-6		書類作成は文書作成ソフトを起動してできること。
	1-1-2-2-7		検査所見としてシエマ画像を表示する機能を有し、シエマ画像作成ソフトを必要に応じ起動できること。
	1-1-2-2-8		来院歴をカレンダーに表示できること。
	1-1-2-2-9		主訴・所見等の登録機能を有していること。
	1-1-2-3	前回・初回の診察画面	
	1-1-2-3-1		前回・初回ボタンを押すことにより、診察に必要な前回や初回の診療録画面を簡単に表示できること。
	1-1-2-3-2		過去カルテの履歴参照を素早く行えること。
	1-1-2-3-3		ボタンクリックにより、カルテの全てや検査結果や所見のみの表示指定ができること。
	1-1-2-3-4		前回カルテを参照しながら本日カルテ記載が可能であること。
	1-1-2-4	散瞳	
	1-1-2-4-1		散瞳を行なうのに伴う散瞳剤を選択できること。
	1-1-2-4-2		散瞳終了までの時間を設定できること。
	1-1-2-4-3		点眼回数を表示し散瞳剤を指定できること。
	1-1-2-5	カルテ検索	
	1-1-2-5-1		主訴・問診・所見・検査・画像等から検索ワードにあった患者カルテを検索結果に表示できること。
	1-1-2-5-2		検索条件を追加して検索できること。
	1-1-2-6	予定一覧	
	1-1-2-6-1		診療録の本日の予定ボタン、予定一覧ボタンを押すことにより、予定一覧画面が表示されること。
	1-1-2-6-2		予約された本日の検査内容が表示されること。
	1-1-2-6-3		必要に応じ、検査予定の変更が行なえること。
	1-1-2-6-4		今後予定されている検査を表示できること。
	1-1-2-6-5		過去行なわれた検査を参照できること。
	1-1-2-7	本日の予定	
	1-1-2-7-1		予約された本日の検査内容を表示できること。
	1-1-2-7-2		必要に応じ、検査予定の変更が行なえること。
	1-1-2-7-3		検査済みチェックを行った検査者が、検査者欄に自動的に設定されること。
	1-1-2-7-4		必要に応じ、検査者のコメントが入力できること。
	1-1-2-8	主訴	
	1-1-2-8-1		診療録の主訴ボタンを押すことにより、主訴画面が表示されること。
	1-1-2-8-2		すべてボタンを選択することで簡単に入力できること。
	1-1-2-8-3		各入力項目は、設定により変更可能であること。
	1-1-2-9	特記事項	
	1-1-2-9-1		診療録の特記事項ボタンを押すことにより、特記事項画面が表示されること。
	1-1-2-9-2		すべてボタンを選択することで簡単に入力できること。
	1-1-2-9-3		各入力項目は、設定により変更可能であること。
	1-1-2-10	シエマ画像	
	1-1-2-10-1		診療録画面から、以下のシエマ入力画面が表示されること。
	1-1-2-10-2		シエマ下絵は複数用意されており、切り替えが可能となっていること。
	1-1-2-10-3		シエマ下絵画像を差し替え・追加することが出来ること。
	1-1-2-10-4		コメントを選択して入力できること。
	1-1-2-10-5		完成した画像は、診療録画面で参照可能であること。
	1-1-2-10-6		眼科ファイリングシステムで撮影した画像をドラッグアンドドロップで下絵にすることができること。
	1-1-2-10-7		ペンの太さや色等の変更機能を備えていること。

	1-1-2-11		画像および検査データ入力
		1-1-2-11-1	検査欄の検査入力ボタンを押すことにより、検査入力画面が表示されること。
		1-1-2-11-2	撮影ボタンを押すことにより、画像入力画面が起動すること。
		1-1-2-11-3	検査データ登録後検査画面を終了すると、診療録画面で登録したデータを参照できること。
	1-1-2-12		画像表示画面
		1-1-2-12-1	眼科ファイリングシステムで撮影画像を表示できること。
		1-1-2-12-2	画像リストから任意の画像を選択することにより個別表示ができること。
	1-1-2-13		受診票印刷
		1-1-2-13-1	患者の本日の予定が分かる眼科受診票が印刷できること。
		1-1-2-13-2	眼科受診票は患者の来院時に受付を行なうと同時に眼科受付にて印刷されること。
		1-1-2-13-3	患者ID・患者名・予約時間・受付時間・担当医・前回受診日・本日予定・特記事項・初診時視力・初診時眼圧・病名等を印刷することが出来ること。
		1-1-2-13-4	当日受診の2人目の同姓同名（かな名判断）患者に対し、同姓同名情報を印刷することが出来ること。
		1-1-2-13-5	眼科受診票にはバーコードが印刷されていること。
	1-1-3		サマリーソフトウェア
		1-1-3-1	あらゆる権限のユーザでも編集ができること。
		1-1-3-2	起動時、最後に書き込んだ行を表示できること。
		1-1-3-3	カルテ起動時に、サマリーも同時に起動させることができること。
		1-1-3-4	電子カルテ稼動前からデータ入力が可能で、稼動後統合することができること。
		1-1-3-5	サマリー入力時に入力テンプレートを利用する事が出来る事
		1-1-3-6	サマリー入力時に直近視力・眼圧値、有効病名、初診日付、最新手術を登録データから引用できること。
	1-1-4		入院カルテソフトウェア
		1-1-4-1	外来カルテ同様の記入が可能であること。
		1-1-4-2	入院中の患者は退院するまで、自動受付することが可能であること。
		1-1-4-3	入院中の場合、カレンダーマークに入院マークが表示されること。
	1-1-5		手術記録ソフトウェア
		1-1-5-1	手術記録一覧
		1-1-5-1-1	過去行なわれた手術を一覧として表示できること。
		1-1-5-2	手術記録
		1-1-5-2-1	グループタブにより、手術基本情報、手術記録、シエマを編集できること。
		1-1-5-2-2	手術記録、シエマは診療録と同様の方法で操作できること。
		1-1-5-2-3	記入者、手術日、術者、診断、術式、迅速組織診断、術中細胞診、麻酔、術前術中特殊処置、術中状態の入力ができること。
		1-1-5-2-4	IOLのバーコードからシリアルNo、メーカー名、品名、度数を取得し管理する機能を有すること。
	1-1-6		文書作成ソフトウェア
		1-1-6-1	眼鏡処方箋など眼科のみで発行・管理可能な文書作成管理ができること。
	1-1-7		眼科検査ファイリングシステム
		1-1-7-1	眼科検査ファイリングシステム
		1-1-7-1-1	画像データ・眼圧・視力等の検査データから、電子化が困難であった視機能検査まで、眼科で発生するあらゆるデータの一元管理ができること。
		1-1-7-2	患者様に分かりやすいインフォームドコンセント
		1-1-7-2-1	多彩なプログラムにより画像解析が簡単に行なえ、患者様に分かりやすい説明が行なえること。
		1-1-7-3	ユーザー認証機能
		1-1-7-3-1	システム使用者にIDとパスワードを設定することができること。
		1-1-7-3-2	ユーザーごとに詳細な使用制限の設定が可能で、不正使用を防止し、システムの真正性を確保できること。
		1-1-7-4	視力検査室：視力データ
		1-1-7-4-1	テンプレートを用意し、レフデータ・過去の矯正データを参照しながら自覚検査データ入力ができること。
		1-1-7-4-2	ほとんどの入力をテンキーボードで行なえること。
		1-1-7-4-3	手動弁等の文字入力はあらかじめ用意されたプルダウンメニューから選択することができること。
		1-1-7-4-4	レンズメーターで測定した眼鏡装用でのJB視力入力が可能であること。
		1-1-7-5	検査室：検査データ
		1-1-7-5-1	バーコードリーダーから患者情報を入力できること。
		1-1-7-5-2	従来どおり検査を行ない、検査機器のエクスポートボタンを押すとデータがサーバに自動転送されること。
		1-1-7-6	診察室
		1-1-7-6-1	患者データを呼び出すだけで当日の眼科検査データが一覧で表示できること。
		1-1-7-7	レーザー・手術室
		1-1-7-7-1	蛍光眼底画像を見ながら光凝固が行なえること。
		1-1-7-7-2	画像の倒像表示が可能であること。
		1-1-7-8	カンファレンス・資料作成
		1-1-7-8-1	画像データを市販のプレゼンテーションソフトに貼り付けるだけでプレゼン資料ができること。
		1-1-7-9	高解像度デジタルカメラ対応
		1-1-7-9-1	デジタルカメラを採用した高解像度システムにより高精彩な蛍光眼底撮影が可能であること。
		1-1-7-10	データ取込機能
		1-1-7-10-1	各検査器械の画像取込・管理ができること。

	1-1-7-11		多彩な画像処理ツール
		1-1-7-11-1	診断をサポートする画像ツールを装備していること。
		1-1-7-11-2	任意の部位の拡大や強調、サブストラクション描画ツール等を装備していること。
	1-1-7-12		スキャナ機能
		1-1-7-12-1	動的視野検査等の紙データをスキャナを使用してファイリングすることができること。
	1-1-7-13		テンプレート機能
		1-1-7-13-1	下記のテンプレートを装備していること。
			自覚検査
			自覚検査（複数行）
			自覚検査（検査眼別）
			JB視力
			眼鏡装用テスト
			プリズム装用テスト
			コンタクトレンズ
			コンタクトレンズ（複数行）
			コンタクト装用テスト
			ETDRS
			TellerAcuityCards
			眼圧検査
			パネルD15
			標準色覚検査第1部
			標準色覚検査第2部
			石原式色覚検査
			TMC式色覚検査
			アノマロスコープ
			大熊氏色盲色弱度検査
			他覚検査
			検影法
			Titmusステレオテスト
			Langステレオテスト
			TNOステレオテスト
			遮閉検査
			プリズム遮閉検査
			Hirschberg/Krimsky
			眼振運動眼球運動
			9方向眼位むき運動
			固視点検査
			眼球運動（複合）
			A-VPattern
			RedFilterLadderTest
			涙液検査
			角膜知覚検査
			パキメータ
			パキメータ（中心）
			スペキュラー
			瞼裂幅検査
			眼瞼検査
			レーザーフレア
			調節検査
			調節検査（詳細）
			輻湊近点
			コンバージェンス
			Worth4灯計法
			4△BASEOUTテスト
			残像検査法
			残像検査法（4面）
			大型弱視鏡
			大型弱視鏡（中心）
			2ペンシル
			わとおし法
			眼軸長
			BagoliniSGテスト
			Berens3灯法
			BHTT
			Berns3灯法
			AC/A比
			AC/A比の検査
			C.F.F
			瞳孔計
			Parks 3 Steps
			Parks

					コントラスト感度（2面）
					CV5000
					ロービジョン補助具
					ロービジョン眼鏡処方
					遮光眼鏡処方
					眼位頭位検査
					ランタンテスト
					深視力
					Randotステレオテスト
					Randotステレオテスト(Form)
					裸眼距離別視力
					レターチャート
					グレーティングカード
					C-Quant
	1-1-8				外部システム連携機能
		1-1-8-1			患者情報を医事システムから受信できること。
		1-1-8-2			受付情報を医事システムから受信できること。
		1-1-8-3			移動情報を医事システムから受信できること。
		1-1-8-4			レポート情報を医事システムへ送信できること
	1-1-9				眼科用語辞書
		1-1-9-1			眼科用語辞書を取り込み、カルテ記事記載の際に利用できること。